

日時 2020年1月30日(木)
19:00~20:50 (18:30開場)

会場 大竹財団会議室
東京都中央区京橋1-1-5セントラルビル11F

参加費 一般=500円
学生、大竹財団会員=無料
定員30名【要予約】

主催 一般財団法人
大竹財団

Web予約
PC・モバイル共通
<https://bit.ly/2shTIU8>



「生きるために食べ物をつくる」いちばんシンプルな仕事

お百姓さんになりたい

監督・撮影・編集：原村政樹 語り：小林綾子 音楽：鈴木光男
後援：埼玉県三芳町／農福連携自然栽培パーティー全国協議会／木更津社会館保育園
配給：きろくびと 2019年/日本/カラー/104分 kiroku-bito.com/ohyakusho-san



『天に栄える村』『無音の叫び声』『武蔵野』
原村政樹監督作品

野菜も人も
不揃いが自然。
みんなが幸せになる
自然栽培ダイアリ



自然の声に耳を傾けながら、いのちをつなぐ。 明石農園の春・夏・秋・冬。



2.8ヘクタールの畑で60種類もの野菜を育てている、埼玉県三芳町の明石農園。明石誠一さんは28歳の時に東京から移り住み、新規就農した。有機農法からスタートして、現在は農薬や除草剤、肥料さえも使わない「自然栽培」に取り組んでいる。ここでは、野菜同士が互いを育てる肥やしになり、雑草は3年を経て、有機物に富んだ堆肥になる。収穫後は、種を自家採種していのちをつなぐ。春夏秋冬、地道な農の営みは、お百姓さんになりたい人への実践的ガイドとなり、自分の口に入るもの。に関心を持つ人に、心豊かに暮らすためのヒントを提示する。

農業は「生命」を育むだけではなく、「想像力」を磨く。
自然は、制圧するものではなく、共存するもの。
映画に登場する人々は、みな心の底からの笑顔を見せる。
——村上龍（作家）
自然と共に生きること。
違いを認め、受け入れること。
生きていく上で本当に大切なことを再確認できました。
——小林綾子（女優）

自然栽培とは？

肥料や農薬に頼らず、植物や土が本来持っている力を最大限に生かした農業方式のこと。自然に学び、作物の声に耳を傾けながら、土づくりに何よりの時間をかけ、タネを自家採種して、次代に繋げていく持続可能な農法。



不揃いでもいい。失敗してもいい。 みんな、ここにいていいんだ。



明石農園には、パティシエやカメラマンなど、様々な経歴を持つ人たちが研修生としてやってくる。農家として独立する人も出てきた。ノウフク（農業福祉連携）にも取り組み、障がいを持つ人たちも、得意分野を生かし、それぞれのペースで働いている。「都会の子に土に触れてほしい」と、農業体験イベントも開催する。20代でも60代でも、障がいがあってもなくても、虫も植物も、土の上ではみんな同じいのち。土がつなぐ「いのちの営み」に、なぜみんな引き寄せられるのか。競争社会から共生社会へとシフトする、新しい幸せの物差しが「農」にある。



お百姓さんになりたい

kiroku-bito.com/ohyakusho-san

監督・撮影・編集：原村政樹 語り：小林綾子 音楽：鈴木光男 映像技術：荒山和之・浅野北斗
監音：丸山 晃・堀口 誠 後援：埼玉県三芳町／農福連携自然栽培パーティー全国協議会／木更津社会館保育園
スチール：柿内未央 イラスト：ミキサキコ 宣伝美術：森泉 宏 配給：きろくびと 2019年/日本/カラー/104分

上映会のご予約・お問い合わせ

一般財団法人 大竹財団

東京都中央区京橋1-1-5 セントラルビル11階
JR東京駅八重洲中央口から徒歩4分（八重洲地下街24番出口右階段すぐ）、
東京メトロ京橋駅7出口から徒歩3分、東京メトロ日本橋駅B3出口から徒歩4分
<https://ohdake-foundation.org> 03-3272-3900



Google
マップ
QRコード

スマートフォンのQRコードアプリで読み取ると、現在地から会場までのアクセス方法が検索できます

